

日本ユーラシア協会とは
旧ソ連邦に住む諸国民との相
互理解と友好を進める(旧)日
ソ協会の統一した名称です
《 **НЕТ ВОЙНЕ!** 》

日本とユーラシア

JAPAN-EURASIA SOCIETY

愛知版 No.674
(ニュース、投稿は下記へ)
〒461-0004
名古屋市東区葵1-22-26
日本ユーラシア協会愛知県連合会
電話 052-508-4368

メールアドレス：eurasia_aichi@yahoo.co.jp ホームページ：<https://eurasia-aichi.beet.jp>

2026年新年おめでとらございます

日本ユーラシア協会愛知県連合会

会長 杉浦 一孝



新年あけましておめでとらござ
います。

旧年中は、日本ユーラシア協
会愛知県連合会の活動に格別
のご理解とご支援を賜り、誠に
ありがとうございました。本年も何とぞよろしくお
願い申し上げます。

2022年2月24日にはじまったロシア・プーチ
ン政権によるウクライナ侵略戦争は、今日、トラ
ンプ大統領が率いる米国政府を中心として停戦交
渉が進められていますが、いまだ解決の見とおし
がつかない状況にあるように思います。新聞等
では、ロシア軍によるウクライナ国内での激しい攻
撃やウクライナ軍によるロシア国内へのドローン
攻撃の模様など、双方の戦局に関する記事の掲載
が途絶えることはありません。

これまでも日本国内でのロシアに対するイメー
ジは、それほど好ましいものではありませんで
したが、この侵略戦争により、国民レベルでのロシ
ア評価は、完全に地に落ちてしまいました。その
ような状況のなかで、日本国内では、侵略戦争を
引き起こしたプーチン政権に対する非難・批判に
とどまらず、ロシアの文化・芸術、音楽等の排斥、
在留ロシア人の人たちに対する誹謗・中傷、さら
には一部の駅構内でのロシア語による案内掲示の
撤去という一連の間違った行動も見られました。

昨年は、こうした特定の国の人たちを排斥しよ
うとする排外主義の動きが、7月の参議院議員選
挙を契機にして、一気に外国人全体を対象とした
排外主義の動きへと広まることになりました。こ
れに一役買ったのが同選挙で躍進した参政党で
した。この政党は、選挙時に「日本人ファースト」
というスローガンを掲げ、激しい経済的格差のな
かで物価高騰等に苦悩している人たちに対し、そ
の原因があたかも在留外国人の存在にあるかのよ
うに、偽情報や不正確な情報にもとづいてデマを
まき散らしました。少なからぬ国民がこれを事実
だとして受け入れてしまったのです。こうした排
外主義の言動は、参政党に限らず、ほかの政党・
政治勢力の間にも見られるように、日本国内で広
く行き渡り、国民の間でそれなりの支持を得て
いるのではないのでしょうか。

私たち日本ユーラシア協会愛知県連合会は、創
設以来、ロシア語講座の開設とそれによるロシア
語の普及、ユーラシア諸国の国民との友好親善活
動の推進とそれをとおしての世界平和の構築を活
動の目的とし、これまでこれらの活動に積極的に
取り組んできました。今後とも、私たちの活動に
とっても焦眉の課題である排外主義の克服を追求
しつつ、当協会の本来の活動を強く推し進めてい
きたいと思います。

2026年の抱負



混迷する時代にユーラシアの
市民の自覚と連帯を

理事長代行 中山 顕

新年明けましておめでとうございます。

昨年6月に理事長代行に就任してから半年間、さまざまな業務に追われながら、みなさまのお力添えがあり何とかこれまでやってこられた、というのが正直な感想です。至らぬことも多々あるかと思いますが、これからも日本とユーラシア諸国との市民交流の架け橋として協会の活動に尽力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ところで、今年の干支の午にちなみ、権力者が「間違ったことを強引に押し通すこと」を表した「指鹿為馬」（鹿をさして馬となす）という言葉があります。世界中あちらこちらで民主主義の劣化が嘆かれて久しいこのご時世ですが、せめて私たちは主権者として、だれかの顔色をうかがって「鹿を馬と偽るような愚」だけはおかしたくないものです。



教科書を改訂して新学期へ

ロシア語委員長

服部 和

あけましておめでとうございます。

ロシアのウクライナ侵攻から4年近くなりましたが、戦争の終結はいつになるのか、またそれがどのような形になるのか、いまだに展望が開けません。愛知県連のロシア語講座は、それでもロシア語の学習を続けたい、また新にロシア語を習いたいと願う人たちの思い

に答えて授業を続けてきました。名古屋でロシア語を学ぶ場所は少なく、その場所を提供しようと終戦後すぐから様々な困難を乗り越えてきたわけですが、諸物価高騰の折、30年以上も値上げされていないロシア語受講料を主な財源とする活動の運営は大変です。しかし幸い、今期は受講生が50名になったのと、ボランティアの皆さんに事務所の仕事を引き受けていただいたり、講師の先生方にもご協力をいただいたりして節約を心がける努力を続けることによってなんとか乗り切れそうですが、受講料の値上げの件は今後も理事会との話し合いを通じて検討して行くことになると思います。昨年の夏からは講師の先生方にご尽力をいただき、長年の懸案だった教科書の改訂が完成し、新しい教科書を用意することができました。来期はこの教科書を使用し、新しい受講生をたくさんお迎えしたいと思います。これからもホームページやブログを活用して情報発信に努め、3月末には無料体験講座も実施する予定です。



ペチカ会員募集中です

料理サークル「ペチカ」代表

服部 和

あけましておめでとうございます。

ペチカはもともと旧ソ連の国々出身の方にそれぞれ母国の料理の作り方を教えていただいて、いっしょに作り試食することを目的としてきました。ところがコロナ禍の日々では人が集まったり長時間いっしょに過ごすことが難しくなりました。またその後は会場としてきた東生涯教育センターの料理室の使用料が高くなったり、ますます物価高になったりし、さらに企画、広報、講師との連絡、実際の材料の買い出しや運搬などを引き受ける人が決定的に不足していることもあって、活動は停滞しています。それでもなにかしら「食べる」ことでロシアの文化の紹介をしたり、会員同士の懇親やそれ以外の方たちへの日ユ協会の紹介ができ

るような企画をと考えられたのが4月の「ボルシチパーティー」でした。愛知民主会館の会議室を借りて会場とし、名古屋在住のロシア人シェフのボルシチとピロシキをケータリング、前菜とデザートはペチカ会員の手作りでお出しして、紙皿でおもてなし、会費も安くはなかったのですが大変好評でした。当面はこうした小さな例会を企画して簡単な料理をしたり楽しく試食をしたりすることを続けながら、またちゃんとした調理室で料理講習会をすることをめざしたいと思えます。企画の段階から参加してくださる方を募集中です。[ご希望の方はkokoshka2011@gmail.com](mailto:kokoshka2011@gmail.com)までメールでご連絡ください。



戦後80と1年、
日本は、世界はどこへ向かう

平和委員 中山 顕

昨年は被爆80年、戦後80年ということで、日本がこれまで積み重ねてきた非核と平和の運動の意義が再確認され、次の10年、20年の飛躍を誓う、そんなイベントが各地で行われました。

愛知県連でも6月1日の第70回県連総会記念講演に日本被団協・愛友会から金本弘氏、水野秋恵氏を招き、被爆体験とノーベル平和賞受賞についての貴重な話をうかがいました。また、8月の戦争展でも合唱団ミールの方々と一緒に「原爆を許すまじ」を歌うという企画を持ちました。

ところが、10月の高市政権発足から「台湾有事」に「核保有」と急に物騒な発言が飛び出すようになってきて、非核と平和を国是としてきたこの国がこれからどこへ向かおうとしているのか大きな不安を抱えて迎える新年となりました。

世界を見渡しても、ロシアとウクライナの戦争はもうすぐ4年目に入ろうとしています。昨年10月に停戦したパレスチナ・ガザ地域でも未だイスラエルが空爆を行っています。丙午（ひのえうま）の2026年、これ以上「戦火」が広がらないことを祈るばかりです。こう書いた矢先にも、アメリカによるベネズエラへの軍事侵攻が起これり、年明けから予断を許さない状況が進行しています。

現政権は、日本がほんとうに「世界の真ん中で咲き誇る」ことを望むのであれば、いたずらに近隣諸国との緊張・対立を煽るような言動を慎み、戦後80年間歩んできた非核と平和の歩みを後もどりさせることなく、次の確かな一步を踏み出す努力が大事ではないでしょうか。愛知県連は、日本ユーラシア協会の本部・支部、地域の平和団体、民主団体と歩調をあわせて、これからも「平和・人権・民主主義」のための活動を行って参ります。



新しい年に

ミール 小林身哉

1991年7月に結成された合唱団ミールは、今年2026年で35年の節目を迎えます。日本ユーラシア協会愛知県連に所属し、会員、ロシア語講座受講生、ユーラシアの歌を愛する人々が歌い継いできました。創立時からのレジェンドも健在です。ロシアの歌に加えて、近年はウクライナやユーラシア諸国の歌も増えました。

河辺泰宏先生の指導を受けるようになって今年で10年、ボイストレーナーとして25年以上の中須賀悦子先生、そしてピアニストの渡部真理先生。ミールは、ベストな指導者に恵まれ、そのうたごえにはます

ます磨きがかかっています。小さな合唱団ではありませんが、四部の合唱が増え、歌い合わせる醍醐味を感じられるようになりました。

歌は言葉と旋律の調和で成り立っています。ミールでは、ロシアやウクライナの歌を、1番2番は日本語訳で、3番は原語で歌う場合が多いのですが、原語になると、とても美しく響く、と先生方のお言葉をいただきます。日本語では、訳語と旋律がかみあわないことがあるのでしょうか。はじめに言葉ありき。そこから歌が生まれた。思いをこめて抑揚をつけて言葉に向き合うと、旋律があらわれ歌になる。ロシア語を学ぶ皆様、歌うことで言葉がさらに身近なものになります。ミールにぜひおいでください。

国内外はますます混沌として、緑の地球も危うい。だからこそ合唱団ミールは「世界」と「平和」のために、今年も歌い広めていきます。

投 稿

ウズベキスタンを訪問して⑩

東京 2025 デフリンピックでの再会

2024年8月から、私はこのニューズレターで「ウズベキスタンを訪問して」というエッセイを続けてきました。第6回では、ウズベキスタンで出会ったマムールさんというろう者を紹介しました。今回、2025年デフリンピックの関係で彼が日本を訪れたこともあり、私は久しぶりに彼と会うことができました。そこで、日本での滞在について感じたことを、彼自身の言葉で書いてもらいました。以下にその翻訳を紹介し



(むかって一番左に筆者、隣にマムールさん)

『ウズベキスタンで知り合った日本の友人たちとの交流を通じて、私はいつしか日本を訪れることを夢見るようになった。日本は「インクルーシブな社会」を実現している国だという評判を、私は何度も耳にしてきたからである。しかし、どれほど話を聞いても、それは他人の経験にすぎない。百聞は一

見に如かず——その意味を、私は今回の旅で実感した。

第25回夏季デフリンピックは、私に日本を訪れる機会を与えてくれた。開会式に首相や皇族、都知事が臨席していたことは、私にとって強い印象を残した。それは形式的な出席ではなく、聴覚障害のある人々への社会的な敬意の表れだと感じられたからである。国家の代表がその場に立つという行為そのものが、この社会の価値観を静かに示していた。

滞在中、私は多くの新しい友人と出会い、日本文化を内側から知ることができた。とりわけ心に残ったのは、日本人の自然なホスピタリティである。過剰ではなく、必要なときに必要なかたちで差し伸べられる配慮。その積み重ねが、この社会の穏やかな温かさを支えているのだと感じた。

街を歩けば、その配慮は都市空間の隅々にまで及んでいる。点字ブロックやトイレの操作ボタン、階段の手すり、さらには飲料缶に刻まれた点字に至るまで、「誰もが使える」ことが前提となっている。それは特

別な配慮ではなく、日常として制度や設計の中に組み込まれていた。日本は地震の多い国だと聞いていたが、実際に歩いてみると、建物や道路は驚くほど整っていた。自然の脅威を前提としながらも、安全を社会全体で積み重ねてきた長い努力の跡がそこに見えた。

この旅を通して私は、「包摂」とは理念ではなく、日々の実践の集積なのだを知った。日本はそれを声高に主張する国ではない。だが、その静かなあり方の中にこそ、包摂社会の確かな姿が息づいているように思われた。

マムール・アフリディノフ（ウズベキスタンろう者スポーツ連盟事務局長、活動家）』

会員 白村直也

投 稿

ペルミからモスクワへ

2023年10月25日、予定通りホテルから車を出してもらい、シベリア鉄道ペルミⅡ駅11:44発のクペーに乗り込む。同室者は2人。1人はエカテリンブルグから仕事でモスクワまでという、小さなリュック1つだけの若い女性。もう1人はスーツケースの他にバッグ、袋など合計4つもの荷物の極東ウスリースクからの年配のナタリア。今回は女性専用の個室。すっかり夜になってから途中の駅でもう1人、若いオーリャが乗ってきた。大柄な彼女は左目の周りが内出血し腫れていた。荷物はビニールバッグが数個。彼女の知り合いらしい男性が通路から私たちの個室を覗き込んでくる。ナタリアは「これからは部屋の鍵をかけよう」「こういうことはロシアではよくある」と言う。オーリャは私の上段のベッドに上がり、しばらくガサゴソして「スマホがない」。私も探してみた。「ここにある」とベッドの脇に挟まっていたスマホを渡した。彼女達3人はロシア語で話をしていましたが残念ながら私に

は内容はほとんど分からなかった。オーリャが「モスクワに着いたら眼鏡を買いなさい」と言われていた以外は。

朝食後、ナタリアは趣味の箱作りの自分の動画や息子や孫娘の写真をスマホで見せてくれた。「これは私の両親」というセピアがかったモノクロ写真は感慨深かった。モスクワのまだその先に住んでいる孫娘が2人目の出産を控えているが、彼女の夫がウクライナに行って留守なので、数ヵ月手伝いに行くとのこと。

「西ヨーロッパは嫌い」であるナタリアは、飛行機は怖いから帰りもこの鉄道を使うという。モスクワにいる息子が駅のホームに迎えに来ていた。モスクワのヤロスラフスキー駅に26日11:13着。モタモタと荷物をまとめているオーリャを置いて、我々3人は停車後サッサとホームへ降りてそれぞれの目的へ向かう。私は地下鉄コムソモリスカヤ駅から環状線で3駅先のベラルースカヤ駅から徒歩10分のホテルミニマ・ベラルースカヤを目指した。



写真：ヤロスラフスキー・ヴァクザルを出ると右に背の高いガスティーニツァ・レニングラーツカヤ、左にカザンスキー・ヴァクザルが見えた

受講生 渡邊一美

新栄の窓から

新年の幕開け早々に、お詫び申し上げます。

旧蠟も押し迫ってから、日ユ協会会費請求手紙を会員複数人へ送りました。そこに記載した、UFJ 銀行振込口座番号を間違え、ご迷惑をお掛け致しました。

正しい口座番号

三菱 UFJ 銀行栄町支店 0391365

我が協会は、ほぼ会費のみで日常の組織運営と活動が維持されています。今回の請求には、手紙を送った65%の会員がすぐすぐに応えてくださり、感謝いたします。まだの方、お待ちしております。

会費の徴収を滞りなくすすめられるよう、事務局も精一杯努力、工夫します。これからは、振込口座番号のお知らせを間違えません！

なお、退会される場合は、必ず事務局に連絡して、退会月までの会費を納めてくださるようお願いいたします。

本多まゆみ

イリーナ・メジューエワ

ベートーヴェンふたたび

ピアノ・ソナタ全曲演奏会[全6回]

宗次ホールで開催



メジューエワにとって名古屋・宗次ホールでは二度目となるベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲演奏会。前回(2019年4月～2021年1月)

は、コロナ禍による延期を経ながら二年をかけて完

遂。ベートーヴェン弾きとしても名高い彼女は、これまでピアノ・ソナタ全集のCDを2種類リリース(2007年～2009年録音/2020年録音)。とくに二度目の全集は、知る人ぞ知る名演のひとつとして極めて高い評価を受けている。

第1回は4月11日(土)14:00開演で、ピアノソナタ第1番へ短調、第2番イ長調、第3番ハ長調、第22番へ長調、第23番へ短調<熱情>が演奏されます。

第2回8月8日(土)、第3回12月5日(土)

第4回2027年4月10日(土)

第5回2027年8月7日(土)

第6回2027年12月4日(土)

映画「ブーニン」

天才ピアニストの沈黙と再生

2月20日(金)より伏見ミリオン座で上映



1985年、19歳でショパン国際ピアノコンクール優勝。2013年、突如表舞台から姿を消す。ピアニスト生命を脅かす病、怪我、左手の麻痺、そして大手術。苦悩と葛藤を乗り越え、いま再び舞台へと向かう。

2025年12月サントリーホール公演を完全収録。極上の音色がスクリーンへと刻まれる。

公式サイト movies.kadokawa.co.jp/bunin/

初 級

ПУСТЬ ВСЕГДА БУДЕТ СОЛНЦЕ!

《いつもお日さまが輝いていますように!》

Лев Ошанин, 1962г.

Солнечный круг, небо вокруг —
Это рисунок мальчишки.
Нарисовал он на листке
И подписал в уголке:

青い空に輝くお日さま
小さな子どもの絵
子どもは描き終えると、
画用紙の隅っこに記しました

Припев:

Пусть всегда будет солнце! (繰り返し)
Пусть всегда будет небо!
Пусть всегда будет мама!
Пусть всегда буду я!

いつもお日さまが輝いていますように!
いつも青空が見られますように!
いつもママがいてくれますように!
いつもボクが側にいますように!

Милый мой друг, добрый мой друг,
Людам так хочется мира.
И в тридцать пять сердце опять
Не устаёт повторять:

愛らしいボクの友、優しいボクの友
みんな、こんなにも平和を望んでいるよ
大人になってもその心は幾度となく
やむことなく繰り返す

Припев:

Пусть всегда будет солнце!
Пусть всегда будет небо!
Пусть всегда будет мама!
Пусть всегда буду я!

(繰り返し)

Тише солдат, слышишь солдат,
Люди пугаются взрывов.
Тысячи глаз в небо глядят —
Губы упрямо твердят:

兵隊さん、静かにして、聞こえるでしょう、
みんな爆音におびえ、
幾千もの目が空を見つめ、
唇は執拗に同じことを繰り返している!

Припев:

Пусть всегда будет солнце!
Пусть всегда будет небо!
Пусть всегда будет мама!
Пусть всегда буду я!

(繰り返し)

Против беды, против войны
Станем за наших мальчишек.
Солнце навек, счастье навек —
Так повелел человек:

災いとの闘いに、戦争との闘いに
私たちの子どものために立ち上がる
永久(とわ)に太陽を、永久(とわ)に幸せを
人は、それを望むのだ!

Припев:

Пусть всегда будет солнце!
Пусть всегда будет небо!
Пусть всегда будет мама!
Пусть всегда буду я!

(繰り返し)

この歌は、連戦時代、幼稚園小学生
が歌っていたんです。もちろん今も
ヨーロッパの人々に愛されつづけて
います。

《日本語訳：難波忠清 ただし、「歌詞」としての翻訳ではなく単に歌詞の意味をご理解頂くためだけのものです。》

2026年 明けましておめでとうございます

<p>教え子を再び戦場に送るな 愛知県高等学校教職員組合 執行委員長 堀 直予 名古屋市中区新栄二丁目四九一〇 愛知県教育会館五階 ☎ 〇五二―二六一―八一五五</p>	<p>愛知県平和委員会 理事長 小島 俊樹 名古屋市中区葵二丁目二二―二六 ☎ 〇五二―九三一―〇〇七〇</p>	<p>愛知県民主医療機関連合会 名古屋市中区熱田区沢下町九一三 労働会館本館 3F ☎ 〇五二―八八三―六九九七</p>	<p>愛知県労働組合総連合 議長 西尾 美沙子 名古屋市中区熱田区沢下町九一七 労働会館東館 3F ☎ 〇五二―八七二―五四三三 FAX 〇五二―八七一―五六一八</p> <p>愛知民報を周りの人に 愛知民報 名古屋市中区新栄三―二―二五 ☎ 〇五二―二五一―二九二五</p>
<p>川瀬歯科医院 院長 川瀬 利治 稲沢市奥田町 下二条一四〇八一―一五 ☎ 〇五八七―二二―四三六四</p>	<p>日本政府に核兵器 禁止条約の署名・批准を求めろ 原水爆禁止愛知県協議会 名古屋市中区葵二丁目二二―二六</p>	<p>自治労連愛知県本部 執行委員長 武藤 貴子 名古屋市中区柳原三丁目七―八 ☎ 〇五二―九一六―二二五二</p>	<p>弁護士法人名古屋北法律事務所 名古屋市中区平安二―一―一〇―一三F TEL 〇五二(九一〇)七七二二 ちくさ事務所 〇五二(七四五)二二二七 http://www.kita-houritsu.com/</p> <p>名古屋市職員労働組合 執行委員長 磯村和佳子 名古屋市中区三の丸三丁目一―一 ☎ 〇五二―九六一―七八二二</p>
<p>生徒一人ひとりを大切に民主的な学校づくりを 名古屋立高等学校教員組合 名古屋市中区新栄 1-49-10 愛知県教育会館内 ☎ 052(261)1117 FAX 052(261)5684 E-mail meikoukyo@aqua.ocn.ne.jp</p>	<p>日中友好協会愛知県連合会 名古屋市中区千種区末盛通四―一八 ☎ 〇五二―七六三―一一五二</p>	<p>日朝協会愛知県連合会 名古屋市中区千種区小松町 六―九―一 ☎ 〇五二―七三一―九四四五</p>	<p>日本共産党愛知県委員会 委員長 石山 淳一 名古屋市中区新栄三丁目 二―二―二五 ☎ 〇五二―二六一―三四六一 URL: www.jcp-aichi.jp/</p> <p>日本共産党名古屋市委員団 名古屋市中区三の丸三丁目 一―一 ☎ 〇五二―九七二―二〇七一 FAX 〇五二(九七二)四一九〇 ホームページ: http://www.n-jcp.jp/</p>